

田代よいとこーその12ー

方言は国の手形とやら・・・

ふだん耳にすることは少なくなっているかもしれませんが、愛川町にもたくさんの方言があります。メディアの発達で、他の地方たとえば大阪弁（大阪方言）についてよく知っている子どもたちもいるでしょうが、まずは地元の方言に関心を持ってほしいものです。方言は土地に息づく祖先からの贈り物なのですから。

※以下、『神奈川県民俗調査報告22 分類神奈川方言辞典(Ⅱ)ー身体と健康・服飾・飲食・住居ー』（2005年 神奈川県立歴史博物館）より抜粋しました。愛川町とくに半原・田代地区を中心にピックアップしました。（ ）は標準語および説明です。

【身体と健康に関するもの】

- ・ケバ（毛） ・ヒテグチ（額） ・フクラッパミ（ふくらはぎ） ・ホーッパタ（頬）
- ・マミエー（眉毛） ・モモッコゾー（膝小僧、膝頭） ・ボンノクド（首の後ろのくぼんだところ）
- ・ヨコピントー（顔の側面、横っ面） ・デビ、オデビ（出っ張った額）
- ・ガショーキ（体が頑丈で丈夫） ・ヒッターチ（すらりとして背が高い人）

【保健・病気に関するもの】

- ・イピッターレ（寝小便） ・キダス（興奮して常軌を逸した行動をする）
- ・ゴノーガキカネー（体の自由がきかない） ・ゴザル（病気や疲労で身が弱る）

【身なりにに関するもの】

- ・シコー（身なり、格好） ・ツプアシ（素足、裸足） ・テネゲー、テヌゲー（手拭い）
- ・ネド（寝るために敷いた布団、寝床） ・ヒボ（ひも）

【飲食に関するもの】

- ・オスル（うどん、そばなどの麺類の総称）
- ・カテメシ（いろいろな野菜類を混ぜた飯、五目飯） ・コワメシ、オコワ（赤飯）
- ・オーマクレー（大食漢、大食い） ・オコジュー（午後3時頃の間食）
- ・オチャ（午前10時頃の間食） ・オヨメシ、ヨーメシ（夕食）
- ・ヒンダシ（ゆでながら箸ですくい出し、汁につけて熱いうちに食べるうどん）
- ・クイホーケ（食べ放題） ・ハラサンザ（思いっきり腹一杯食べること、満腹）
- ・ニクタラガス（とろけるほど煮込む）

【食具に関するもの】

- ・キビシヨ（急須） ・キリバン（俎板）
 - ・メケー（野菜などを入れる直径35cm、深さ30cmほどの粗い目の竹かご）
- ※旧津久井町鳥屋（とや）（現在相模原市緑区）では、細かい目の竹ざるが「メケー」です。

【調理、調整に関するもの】

- ・オバンシ（炊事の仕事、または炊事人） ※ちなみに炊事をする女性は「オバンシオンナ」

【住居に関するもの】

- ・ジョグチ（道路から屋敷へ入る所）
- ・カミオカ、カミオーカ（母屋内の便所。漢字で書くと「上後架」。後架とは、^{かみごうか}禅寺からきた言葉で、僧堂＝座禅道場の後ろにあった便所。）
- ・コエー（納屋、物置小屋）
- ・スイホロ（据えてある風呂桶、据風呂）
- ・チョーズバ（便所 漢字で書けば手水場）
- ・トバックチ（出入り口に近い所）



【家具、道具に関するもの】

- ・エンペツ（鉛筆） ケブ（煙）
- ・ヒジロ（田炉裏）

まだまだたくさんあります。興味を持たれた方は、上記の文献をごらんください。県内各地の方言が出ています。同じことばなのにちがうものを指すこともあります（例：メケー）

なんとなく意味がわかるものもあれば、ちんぷんかんぷんな言葉もありますね。田代にお住まいの方の中には、ここに上げたような方言をまだまだ日常生活の中で使っている方も多いのでは？ぜひお子さんやお孫さんに伝えていってほしいと思います。それもコミュニケーションを図る良いきっかけになることでしょう。